

# 港湾物流クラウドのエクサス

物流情報システムのクラウド・サービスを提供するエクサス（神戸市中央区、鶴田純社長）は10月1日付で、貿易・物流関連の人材派遣を行うキャリアアトラスト（神戸市中央区、窪田稔社長）と業務提携した。両社は異業種ながら、ともに港湾物流業界という共通の顧客基盤を持つ。まずは営業協力から始め、協力範囲を拡大していく。これまでに蓄積したノウハウと営業ネットワークなど互いの経営資源を融合し、NVOCCなどから業務を請け負うアウトソーシング・サービスも視野に新たなビジネスの創造を目指す。



エクサスの鶴田純社長(左)とキャリアアトラストの窪田稔社長(右)

## キャリアアトラストと提携

エクサスは邦船社出身の鶴田社長が情報システム部での経験などを生かして、1992年に設立。船社や海貨事業者、NVOCCなどにITサービスを提供してきた。早くからインターネットを利用したクラウド・サービスの提供に取り組み、手続きの電子化に合わせてデータセンター（IDC）・サービスや、同社のクラウド・サービスとNACCSを直接接続するゲートウェイ・システム「eGATE」も構築。NVO向けなどでは海外への展開も見据えたネットワーク型のITサービス志向している。

一方のキャリアアトラストは外船社を母体とし、神戸の港湾物流大手などの出資で85年に設立された。神戸と阪神間を地盤に大阪市と加古川市に支社を置き、30年にわたって船会社をはじめ、港運会社、大手倉庫会社などに多くの人材を派遣してきた実績がある。港湾物流業界とは深いつながりを持つに加え、大阪ではメーカーや商社、航空フォワーダーなどに幅広く人材を派遣している。

両社は当面、キャリアアトラストの顧客にエクサスのクラウド・サービスを紹介するといったかたちで主に営業面

で協力する。中でもNVOを中心にクラウド・サービスの認知度向上を図る。今後はエクサスのクラウド・サービスの導入に合わせ、システムに精通する人材を育成し、派遣するといった構想も具体化していく方針だ。

NVO事業への新規参入や同事業を強化する動きが続いているが、NVOは比較的新しい産業で他業種に比べて経験者が少なく、業務には手作業も多いため、就労環境が厳しくなる傾向がある。そこで、安価で導入でき、海外拠点への展開も容易なエクサスのクラウド・サービスを提案。要望に応じてシステムに習熟した人材も派遣することで「新しいマーケットを掘り起こす」（鶴田社長）。

さらに、NVOのカウンター業務などを両社で協力して受託することも考えられる。これにより、NVOは集荷営業や船社との運賃交渉に専念できる。「今回の異業種提携ではさまざまなビジネスが可能になる」と話すのは窪田社長。提携は今後、新たなビジネスを生み出すための第一歩という位置付けだという。

情報システムによって省力化が進むという意味では、エクサスとキャリアアトラストの利害は相反する。しかし、企業戦略や業務プロセスは情報システムと不可分になっており、顧客の業務

プロセスの中では人材と情報システムも一体といえる。

NVOが海外展開を本格化するには、グローバルに連携が可能な高度な情報システムとそれに対応できる人材が必要だ。両社は競合関係を相互補完関係に転換し、NVOの事業の拡大に貢献していく。

### NACCS更改へ準備着々

エクサスは、来年10月に予定されている第6次NACCS更改への対応も進めている。同社は船社・代理店、海貨事業者、NVOCCとそれぞれの業態に合わせたクラウド・サービスと「eGATE」など、NACCSとの連携サービスを提供しており、新規ユーザーには次期NACCSに無償で対応する。現在、次期NACCSの仕様確認と技術調査を終え、対応環境の構築作業に入っている。

12月には次期NACCSと「eGATE」などとの接続試験と並行して、顧客に提供するサービスごとのプログラム作業に着手。来年7月に開始予定の「総合運転試験」までに作業を終える。また顧客には12月から来年1月にかけて、新仕様の提案を説明、確認。総合運転試験の時期には顧客に運用を説明後、運用テストを行う。

## NVOに照準、新ビジネス創出へ